

教会の一致 (ヨシュア 22:21-27)

現場灯台として召されている私たちに、なによりも大切なのは、光を放つべきこの世がどういふところかと知ることです。信者である私たちに神様はこの世を正しく見るようにしてください。この世を正確に見ることは、信者の特権です。

この世は、神様から離れ、神様にそむいているところ。この世の基本的なスローガンは「神がいなくても、人は一生懸命にがんばって努力すれば変わることができ、良い人間になる。裕福になり、物が豊富になると幸せになる。発展をとげることによって、良い世界になれる」ということです。しかし、どんなにスローガンを掲げてがんばっても、まことの幸せ、安らぎ、希望はありません。



そこでもがいて人間の手で作らしたのが偶像、宗教、占い、瞑想、修行です。しかし、それでは変化できません。だれも気づくことができず、自分からは認めることはできませんが、人間はたましいが死んでいて、悪魔から出た者(ヨハネ 8:44)と言われるように出身、背景が悪魔です。生まれながら御怒りを受けるべき子(エペソ 2:3)なので、改善することも、まことの幸せ、安らぎ、希望は手に入れることもできません。どんなにスローガンがすばらしくても、個人的には心が病んで、精神トラブル、肉体も痛み、人生のさまざまところが崩壊します。そして、未来は死ぬこと、さばかれることが決まっています。それはひとりだけのことでなく、霊的遺産として子孫に受け継がれていきます。そのような逃げることのできない運命に捕らわれているのです。そこで、気づいて、神様が必要だと立ち返ればよいのですが、立ち返ることはできず、また、がんばって、豊かさを求め、研究して発展しようとする悪循環の中にいます。それがこの世です。

この世を理解するなら、この世に本当に必要なことは、神様に戻って、神様と出会い、いっしょにいて祝福を受けることだとわかります。それは人間では不可能なので、神様が恵みによって、いっしょにすることができる道を開いてくださいました。それがキリスト(創世記 3:15)です。キリストによって神様を離れた人々が再び神様に会えるように

すると約束してくださって、それが成就しました。イエスがキリストです(ヨハネ 14:6)。そのイエス様がわたしのところに来なさいと招いておられます(マタイ 11:28)。この世に絶対に必要なのは、イエスキリストです。この世に絶対に必要なのはイエス・キリストなので、そのキリストを所有している信者、そして、その信者の集まりの教会は、本当に貴重です。この世のまことの必要は教会であり、信者です。ゆえに世の光と言われました。信者、教会は、サタンにとっていちばん恐れるべき脅威です。ですから、サタンは、必死になって教会を倒そうとします。その策略に、いま、日本、世界がやられています。そのことをわかって、しっかりと備えましょう。

サタンが教会を倒す方法には3つあります。1 つ目は、外部からの迫害によって倒そうとします。しかし、これによって教会は倒れることなく、よりしっかり固くなります。2 つ目は、世の流れを教会に入れて、世と混ざることによって、教会の本質をなくさせることです。いま、その攻撃にやられて、教会のかたちはあっても、内容がちがうようになっています。それゆえ、サタンにとっては脅威でもなんでもない所になっています。3 つ目は、教会内部の葛藤や争いで、分裂を起こすことです。消耗戦によって、教会が自ら崩壊するようにさせます。これがサタンの方法です。内部で信徒が本質より、うわべや外見を優先させると、葛藤に捕らわれて崩壊するのです。肉の争いに巻き込まれ、霊的な戦いができないまま崩れます。これがサタンのやり方です。

今日の聖書箇所は、イスラエルがカナンを征服したあと、ヨルダン川のあちら側の部族とこちら側の部族の考え方のちがいで争いがあって、そのあと、和解して戻ったとかがかれています。サタンは、教会が脅威なので、倒すために、内部の葛藤を通して内部から崩しますが、そのとき、違いにこだわるようにさせ、本質を逃させます。教会は、多様な人が来るところです。神様は万民の神様で、イエス様の復活のち新しい時代が開かれて、イスラエルだけではなく、だれでも信じ

ると救われる時代になりました。いろいろな人がいますが、うわべの違いを優先してはいけません。教会の本質はワンネスです。イエス様が「彼らもひとつとなって」(ヨハネ 17:21)と言われたように、いっしょで同じです。ここに大切な意味があります。外見、実力、民族、国がちがっても、同じだということです。パウロはエペソ 4 章で、御霊の一致を求めなさいと言いました。聖霊によって同じ神の国で、いっしょなのです。この本質を忘れて軽んじると、外見の違いで葛藤して崩壊します。それが悪魔の策略です。キリストはひとつ、バプテスマはひとつ、神様はひとつ、つまり、三位一体の神様の御名によって同じなのです。信者は教会であり、教会は同じキリストです。実力がどうであってもイエスを信じたことで同じです。「いろいろな違いがあっても聖霊内住でいっしょ。神様が主人」ということを覚えましょう。いろいろちがいがあっても、神様から与えられる祝福は同じです。天にあるすべての霊的祝福が与えられています。その結果、ちがいがあっても、キリストを頭にしたら、キリストのからだで、いっしょなのです(エペソ 1:23)。そして、同じ希望、天国の希望を持っています(ピリピ 3:20)。いろいろな人生がありますが、理由は同じです。神様からの使命の理由は同じで、世界

福音化、福音宣教です。それが生きる理由で、みんな同じワンネスです。教会の目標はキリストによって豊かになることです(エペソ 4:12-16)。目標はみんな同じなので、世にだまされないで使命をまっとうされるように、みんなが、よりキリストに満たされる方向に向かうのです。教会は戒めも同じです。聖霊の一致を与えられているので、互いに愛し合う以外には戒めはありません。イエスの愛のルール以外は通用しないのです。

大切なことは、聖霊の一致を熱心に保つことです(エペソ 4:3)。すでにひとつとされていることを認めましょう。違いを問題にすることなく、常に本質を優先しましょう。聖霊の一致を保つことを契約のみことばとして心に刻みましょう。本質以外の主義主張で、教会が崩壊した歴史があります。聖霊の一致だけを優先しましょう。個人個人が福音の本質を通して造り変えられた自分にこだわり、自分を喜びましょう。個人的にサミットの祝福を味わうことが聖霊の一致を保つ大切なプロセスです。自分の過去や外見にこだわることなく、聖霊の本質を大切に、聖霊が内住された世の光であることにこだわることを優先し、聖霊の一致を保つようになることを祈ります。

(http://jremnant.com に音声と動画が出ています)

ヨシュア 22:21-27 教会の一致
なるほど/ 世を生かす現場灯台として召された教会は、この世の真の必要であり、サタンが最も恐れる大切なところなので、教会の本質である一致を優先して、肉の葛藤を越えるとき、教会の使命を果たすことが出来る。
ならば/ 聖霊の一致を熱心に保つ信者になろう。個人が福音の本質を豊かに味わい、霊的な余裕をもつ人になろう。

インマヌエル教会聖日メッセージ祈り文 (2019年7月21日)

1 部礼拝：すべて、疲れた人、重荷を負っている人 (マタ 11：25-30)

私の疲れと重荷を負って、キリストに向かって出て来て、私の学業と産業がキリストにつながって、まことの力を得て、私の人生を生き返らせてください感謝します。私のすべてのこと、疲れと重荷をキリストに委ねて、サタン、地獄、わざわざの運命から完全に逃れますように。私の学業、人生、産業をキリストにつなげて、一生の答えを味わいながら、キリストの奥義を他の人に伝えますように。この契約を握って神様が私の背景であり、神様が私の力であるということをしるすように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。

2 部礼拝：レムナント運動の始まり (イザ 6：1-13)

時代と大人たちが難しくなるとき、レムナントを召されてもっとも良い答えの時刻表が始まるようにしてください感謝します。御座の背景、全地に現れた神様の栄光、セラフィムと大きな力のみわざを見た一人になりますように。契約を持った私一人を通してレムナントが立ち上がり、世界福音化のみわざを味わいますように。神様が動かす契約の旅程に従って、第1、2、3RUTC運動の祝福を味わいますように。契約を握って信じるのでない答え、レムナント運動、すべての民が戻って来ますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。